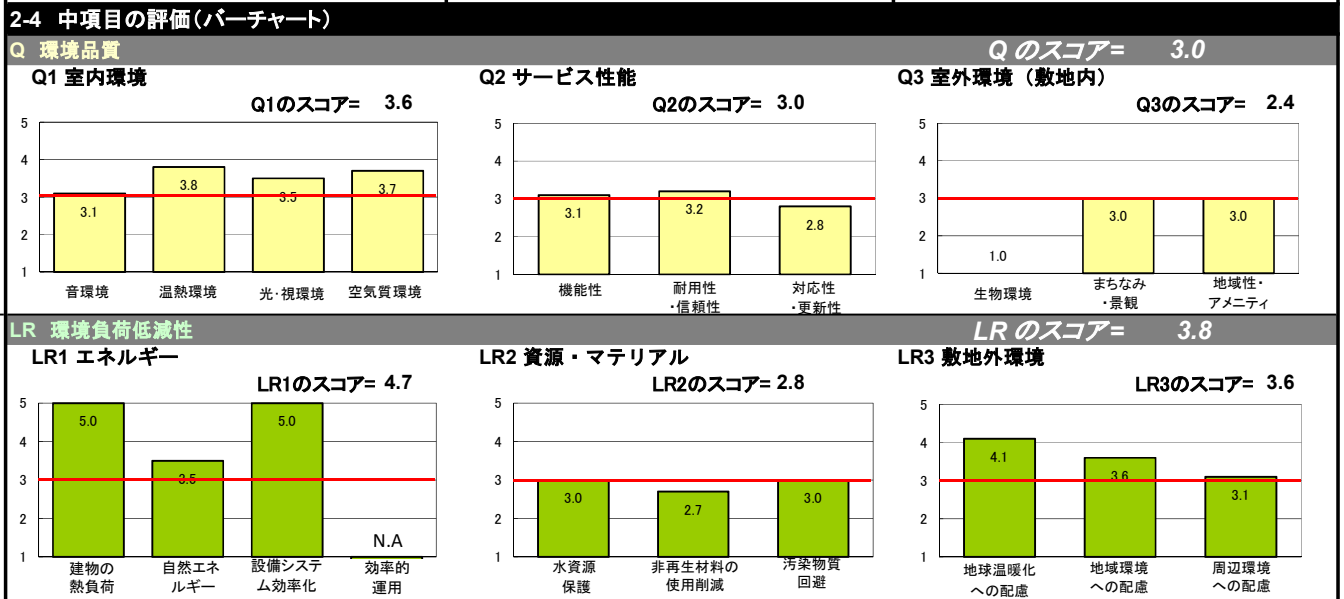
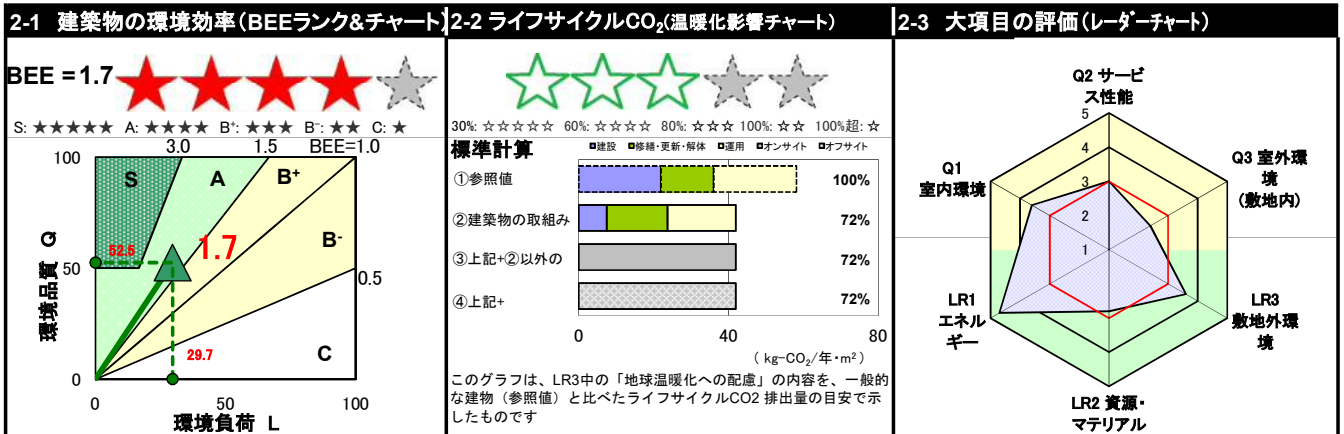


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14034

建築物名称	ライオンズ宮前平ヒルズ
建築主	株式会社 大京 本店 執行役員本店長 立石 恭司
建築物の所在地	川崎市宮前区宮前平3丁目9-3他
設計者氏名、建築士事務所名	辻本 敬司 株式会社ティー設計工房 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	4,151.11m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階、地下1階
工事完了年月	平成28年11月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、電気ヒートポンプ式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電、電気ヒートポンプ式給湯器

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ライオンズ宮前平ヒルズ	階数	地上7階地下1階
建設地	川崎市宮前区宮前平3-9-3他	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域/1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	135 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 竣工	評価の実施日	2014年8月20日
敷地面積	1,627 m ²	作成者	(株)T設計工房
建築面積	965 m ²	確認日	2014年8月20日
延床面積	4,151.11 m ²	確認者	(株)T設計工房

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

ライオンズ宮前平ビルズ

14034

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.7
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合し、20%以上の緑化面積を確保した。 マリオンによる分節化で、外観にリズムを創りながら景観計画に準じた色彩を基調とする。 緑被率、中・高木の水平投射面積率の合計を15%以上確保した	2.0/4.3	2.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率を45%以上確保した。	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.3
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.3 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.2 屋光制御	複層ガラスを採用 バルコニーの設置とともに、室内にカーテンボックスを設置した。	4.3/5.0	4.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合し、20%以上の緑化面積を確保した。 緑被率、中・高木の水平投射面積率の合計を15%以上確保した	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度の省エネルギー対策等級4相当を設定した 太陽光パネル設置 エコキュート設置	4.7/5.0	4.7
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 フロン・ハロンの回避	節水型水栓(キッチン・バスルーム)節水型便器を採用した。 ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材を採用した。	2.6/4.6	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率を45%以上確保した。	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.2
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数		0.4/0.5	3.5
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.2/3.9	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	建物利用者の為の適切な量の自転車置場(バイク置場)の確保	0.3/0.4	3.9
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合し、20%以上の緑化面積を確保した。 緑被率、中・高木の水平投射面積率の合計を15%以上確保した	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度の省エネルギー対策等級4相当を設定した 太陽光パネル設置 エコキュート設置	4.7/5.0	4.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率を45%以上確保した。	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.1**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度の劣化対策等級3相当を設定した	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の再利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.4	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度の省エネルギー対策等級4相当を設定した 太陽光パネル設置 エコキュート設置	4.7/5.0	4.7

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEF-川崎2011年版 ライセンスプログラム						欄に数値またはコメントを記入				14034
スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40			3.6
1 音環境						3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル						3.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策								3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.4	0.50	
1 開口部遮音性能					Dr-45	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					Lr-45	5.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					Lr-50	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						2.2	0.35	4.2	1.00	3.8
2.1 室温制御						2.2	0.50	5.0	0.63	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-	
3 外皮性能		W			省エネ対策等級4相当	1.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	
6 個別制御						-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-	
8 監視システム						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.38	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 屋光利用						4.2	0.30	3.4	0.50	
1 屋光率					共用部2.5%以上、住居部2.0%以上	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	1.0	0.30	
3 屋光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50	
1 照明器具のグレア						-	-	-	-	
2 屋光制御			W		庇、カーテンにて制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆仕様の材料を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-	
4 レジオネラ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保	3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画						-	-	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	

Q2 サービス性能										
1 機能性										3.1
1.1 機能性・使いやすさ										3.1
1 広さ・収納性										3.0
2 高度情報通信設備対応										4.0
3 バリアフリー計画										1.00
1.2 心理性・快適性										3.0
1 広さ感・景観										0.40
2 リフレッシュスペース										3.0
3 内装計画										0.50
1.3 維持管理										3.5
1 維持管理に配慮した設計										4.0
2 維持管理用機能の確保										3.0
3 衛生管理業務										-
2 耐用性・信頼性										3.2
2.1 耐震・免震										3.0
1 耐震性										3.0
2 免震・制振性能										3.0
2.2 部品・部材の耐用年数										3.5
1 躯体材料の耐用年数				R						5.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				R						2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				R						3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				R						3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				R						5.0
6 主要設備機器の更新必要間隔				R						3.0
2.4 信頼性										3.2
1 空調・換気設備										3.0
2 給排水・衛生設備										3.0
3 電気設備										3.0
4 機械・配管支持方法										3.0
5 通信・情報設備										4.0
3 対応性・更新性										3.0
3.1 空間のゆとり										2.6
1 階高のゆとり										3.0
2 空間の形状・自由さ										2.0
3.2 荷重のゆとり										3.0
3.3 設備の更新性										3.0
1 空調配管の更新性										3.0
2 給排水管の更新性										3.0
3 電気配線の更新性										3.0
4 通信配線の更新性										3.0
5 設備機器の更新性										3.0
6 バックアップスペース										3.0
Q3 室外環境(敷地内)										2.4
1 生物環境の保全と創出				G	W					1.0
2 まちなみ・景観への配慮				G						3.0
3 地域性・アメニティへの配慮										3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上										3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W					3.0

LR 建築物の環境負荷低減性									3.8
LR1 エネルギー									4.7
1 建物の熱負荷抑制				W	H			省エネルギー対策等級4相当	5.0
2 自然エネルギー利用									3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用				W	H				3.0
2.2 自然エネルギーの変換利用				W	H			太陽光パネル設置	4.0
3 設備システムの効率化				W	H			エコキュート採用	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)									5.0
集合住宅の評価									5.0
4 効率的運用									-
4.1 モニタリング				W	H				3.0
4.2 運用管理体制				W	H				3.0
LR2 資源・マテリアル									2.8
1 水資源保護				W	R				3.0
1.1 節水									3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用									3.0
1 雨水利用システム導入の有無									3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無									3.0
2 非再生性資源の使用量削減									2.7
2.1 材料使用量の削減				W	R				2.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W	R				3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W	R			-	3.0
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				W	R			-	1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W	R				2.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W	R			LGs下地	4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避									3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用									3.0
3.2 フロン・ハロンの回避									3.0
1 消火剤				W					-
2 発泡剤(断熱材等)				W					3.0
3 冷媒				W					3.0
LR3 敷地外環境									3.6
1 地球温暖化への配慮				W				エコキュート採用	4.1
2 地域環境への配慮									3.6
2.1 大気汚染防止								エコキュート採用	5.0
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W				3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制									3.5
1 雨水排水負荷低減					R				3.0
2 汚水処理負荷抑制					R				3.0
3 交通負荷抑制					R			駐輪場200%確保	5.0
4 廃棄物処理負荷抑制					R				3.0
3 周辺環境への配慮									3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									3.0
1 騒音									3.0
2 振動									-
3 悪臭									-
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制									3.0
1 風害の抑制									3.0
2 砂塵の抑制									3.0
3 日照障害の抑制									3.0
3.3 光害の抑制									3.7
1 屋外照明及び屋内照明のつらみに漏れる光への対策								屋外広告 照明なし	4.0
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策									3.0

14034

ライオンズ宮前平ヒルズ

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。